



荒川区国際交流協会 事務局だより

2019年
11月号

2019年11月1日発行

編集・発行 荒川区国際交流協会事務局（荒川区役所3階）

〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 荒川区役所地域文化スポーツ部 文化交流推進課内

HP <http://www.arakawa-kokusai.com>

E-mail: kokusai@city.arakawa.tokyo.jp Tel: 3802-3798 Fax: 3802-4769

事業予定



～12月17日実施 第7回日墺親善リサイタルチケット発売中～

オーストリア国内外で高い評価を受け、オーケストラやラジオなどでも活躍する若手ハープ奏者、ゾフィー・シュタイナーさんをお招きし、ハープ演奏をお届けします。

ハープの音色には、小川のせせらぎや波の音、小鳥のさえずりなどと同様に、「1/fのゆらぎ」という、聴いていると心地いいと感じる波長が含まれているそうです。師走の忙しい時期、ハープの音色に心を休めてみませんか。ゾフィーさんは日本の在住経験もあるので、曲の合間のトークにもどうぞご期待ください。

また、2019年は日墺友好150周年であることを記念して、当日はオーストリアのグッズが当たる抽選と物販を行います。

日時 12月17日（火）（18時30分開場 19時開演）

会場 日暮里サニーホール

曲目 ヘンデル：ハープ協奏曲 変ロ長調、シュポーア：幻想曲、
（予定） フォーレ：即興曲、黛 敏郎：ハープのための六段、

オベルトウール：アルペンリーダー、グリーンカ：夜想曲、
クリスマスソング：きよしこの夜 他

入場料 一般2,000円、ペア（一般2枚）3,000円、
大学生以下・荒川区国際交流協会賛助会員1,000円、
ACC友の会会員1,800円



ゾフィー・シュタイナーさん

※荒川区内在住・在学の高校生以下60名を無料招待！

ご希望の方はハガキに氏名・住所・電話番号・学校名・学年と希望枚数（2枚まで）を記載し、荒川区国際交流協会事務局までご応募ください（11月29日（金）必着、応募多数の際は抽選）。

チケット 町屋文化センター、日暮里サニーホール、ムーブ町屋、区役所
購入 文化交流推進課で販売中です。日本語教室・サロン出席の方は、事務局へ連絡をいただけましたら、出張販売も可能です。



予告：外国人のためのスピーチ大会を2月29日（土）に実施します

例年3月の第1日曜日に実施している外国人のためのスピーチ大会ですが、今年度は2月29日（土）に開催いたします。事務局だより12月号等で出場者の募集を行います。毎年、日本語教室、サロンボランティアの皆さんには特段のご尽力をいただいておりますが、今年度もよろしくお願いたします。

また、2020年はオリンピック・パラリンピック実施年であることから、文化交流の一環として、特別企画を行います。母国や日本の音楽やダンス、武術などを披露したい外国人、日本人の方を募集（1～2組・出演時間は1組10分程度）する予定です。ボランティアでのお願いとなりますが、「我こそは」という方、「この方だったら」というお心当たりのある方は、ぜひ事務局までお知らせください。

予告：国際交流バスハイクを2月～3月に実施する予定です

毎年ご好評いただいている国際交流バスハイクですが、今年度は2月～3月の週末に日帰りで千葉県大多喜町を訪問する予定です。荒川区と大多喜町は、昭和60年から交流が始まり、現在も川の手荒川まつりへの出展や、大多喜お城まつりへの区内団体派遣などの交流があります。

大多喜町では、先日の台風15号等により、住宅被害や道路の損壊、停電、断水等が発生しましたが、町が一体となって復旧に努めていると伺っています。

町内には、房総の小江戸と呼ばれた大多喜城とその城下町、養老溪谷、いすみ鉄道など、多くの見どころがあります。現在、大多喜町役場や観光協会と連絡をとりながら町内の訪問先等を検討中ですが、応援ツアーを行います。

詳細が決まりましたら改めて事務局だより等でお知らせいたします。



大多喜城の外観

事業報告

～初心者向け楽しい中国語入門講座を開催しました～

10月2日、9日、16日、23日（いずれも水曜日）と計4回にわたり中国語入門講座を開催しました。定員を超える応募があり、毎回到ぎやかでした。発音の基本である「ピンイン」、「母音」と「子音」をしっかりマスターできるよう声に出して繰り返し練習しました。日本語には無い音が特に難しいようでした。

田先生は褒め上手で、正しい発音には「ネイティブみたい！」などと、常に参加者の自信を引き出そうとしてくださいました。自信を持ってしっかりと話すことは、きれいに発音するコツの1つだそうです。

受講生からは、「この講座に毎週出席するのが楽しみだった。これからも勉強を続けたい」という声をいただきました。



田先生と何度も発音を練習しました

～茶道教室を実施しました～

10月4日（金）に茶道教室を実施し、8名が参加しました。この日のお軸には「松樹千年翠」とあり、松は花が咲いたり紅葉したりはしないが、移ろわずに緑を保つという意味で、禅に由来する言葉だと説明を受けました。

外国人参加者からは、ただお茶を飲むのではなく、道具やお菓子のなどにも季節感や意味があり、興味深かったという感想がありました。



抹茶は京都から取り寄せたおいしいものを頂きました

事務局だよりを e-mail で配信します！
ぜひ、ご利用ください！

メール配信の方には、事務局だよりをカラーでご覧いただけます。是非ご登録ください。詳しくは事務局へご連絡ください。
e-mail : kokusai@city.arakawa.tokyo.jp

編集後記

関西の市役所に勤める友人がラグビーワールドカップに職務として関わった際に、イングランドチームの関係者から Where is the coach park? と聞かれました。最初に高知県の公園、次に指導者用の公園と解釈した彼は困ってしまったそうですが、Coach park とはイギリス英語でバス停のことだそうです。会場内で屈強な人たちからコーチという単語を聞いたら、なかなかバスを連想するのは難しいですね。(安藤)